

申年国府津村船役金可納割付事

一天当船一艘

幾右衛門

是者名主 船役免除

一橋船四艘

惣七

永二百文

同人

但シ一艘ニ付五拾文づつ

吉左衛門

一 船六艘

同人

永三百文

彦八

但シ右同段

同人

幾右衛門

幾右衛門

同人

同人

吉右衛門

吉右衛門

幸八

幸八

船合拾一艘 有船

永合五百文

此金二歩

右之通来ル十二月二十五日限、急度可

上納者也

明和元甲申十二月十五日

伊田市郎兵衛[㊦]

横山寛大夫[㊦]

作州

柳井左京

上村門右衛門[㊦]

奥村喜左衛門[㊦]

国府津村

名主・船持中